

環境県民局 資 料	No. 2
--------------	-------

令和7年6月27日
 課名 環境県民局わたらしい生き方応援課
 担当者 課長 井上
 内線 2733

令和6年度のエソール広島の活動状況について

1 要旨・目的

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和6年度の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

2 現状・背景

「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めていくために、取組を着実に実施することが重要であることから、事業の実施状況や施設の利用状況等を取りまとめ、活動の振り返りを行うことで、今後の取組の充実・強化を図ることとしている。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（詳細は別紙のとおり）

「わたらしい生き方応援プランひろしま」に基づき、性別にかかわらず誰もがわたらしく生きることのできる社会を実現するため、次の3点を重点項目として事業を実施した。

<重点項目>

- (ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- (イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- (ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

ア 重点項目等の主な取組

(ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

- ・ ジェンダー平等の視点に立った意見の反映が進むよう、防災や世代間のジェンダー観の違い等をテーマとした男女共同参画公開講座を実施した。

【男女共同参画公開講座参加者数：441人】

- ・ 性別による固定観念の解消に向け、日頃抱えている性別に関する「もやもや」を川柳の形で募集・発信するジェンダー川柳コンテストについて、協賛企業11社の広報協力を得ながら実施した。

【応募数：3,747作品（R5年度：1,649作品）】



(イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

- ・ 家族や職場の人間関係トラブルなどの悩みに対し、電話相談や面接相談のほか、専門機関へつなぐ対応を行った。前年度を上回る相談が寄せられ、相談内容では「家族（夫婦、子供、親等）」に関する相談が増加したほか、年代別では50代が5割を占めた。

区分		令和6年度	令和5年度	対前年度比
一般相談	電話相談	2,302件	2,218件	103.8%
	面接相談	122件	100件	122.0%
合計		2,424件	2,318件	104.6%

- ・ 複合的な悩みを抱える女性等に対しては、複数の専門家に相談できる無料相談会を実施した。【専門家相談会参加者(LGBT除く)：32人】

(ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

- ・ 性の多様性の悩み等に対し、週1日の電話相談で対応した。相談件数は前年度と比べて減少し、年代別では50代からの相談が増え3割を占めた。

区分		令和6年度	令和5年度	対前年度比
LGBT相談	電話相談	228件	263件	86.7%
	面接相談	3件	5件	60.0%
合計		231件	268件	86.2%

- ・ 支援者による面接相談及び専門家等を交えて相談者同士が交流できるグループ相談の場を設けた。【専門家相談会参加者(LGBT相談)：14人】
- ・ 性の多様性等に関する理解促進について、県教育委員会等と連携し高等学校における出前授業を実施したほか、若者の身近にいる教職員を対象に、基本的な知識の理解や支援の方法などを学ぶ講座等を実施した。【出前授業：13回 3,618人】

(エ) 重点項目以外の主な取組(交流・連携)

- ・ ジェンダー平等や女性活躍などについて考えるきっかけとなるよう、関係団体と連携した共催事業や企業等からの研修受託を行ったところ、いずれも前年度に比べ増加した。
【共催事業：44回、2,003人(R5年度：28回、1,517人)】
【研修受託：28回、2,185人(R5年度：25回、1,692人)】
- ・ ホームページの改修を行ったほか、ジェンダー川柳を紹介するなどのコンテンツを充実したためアクセス数が増加した。【HPアクセス数：114,547件(R5年度：107,257件)】

イ 利用状況

- ・ 講座等について、幅広いテーマを取り上げるなど工夫するとともに、対面とオンラインを併用したハイブリッド開催を充実させたほか、企業等からの研修受託が増えたことなどにより、前年度に比べ利用者は約1割増加したものの、目標の3万人には達していない。

区分	令和6年度	令和5年度	対前年度比
利用者数	28,058人	25,566人	109.7%
施設利用者数	21,707人	19,611人	110.7%
外部施設での参加者数(出前授業等)	6,351人	5,955人	106.6%

ウ 事業の振り返り

- ・ 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革では、県との連携のもと実施したジェンダー川柳コンテストで、協賛企業による職域での参加呼びかけや学校等への働きかけにより応募数は前年度の2倍超となったほか、受賞作品が全国ニュースで取り上げられるなどの反響があった。
- ・ 専門家無料相談会では、複数分野の専門相談を受けられるなどの工夫を行い、満足度は8割以上と高評価を得られたほか、性の多様性の悩みに対し、相談者のニーズを踏まえたグループ相談の場の提供などを行った。
- ・ 利用者数は昨年度に比べ増加したものの、目標としている利用者数（3万人）に届いておらず、その要因として、エソール広島の活動の周知や認知が広がっていないことや、遠方からの利用者数が伸びていないこと、市町や関係団体と広報啓発や活動の連携が十分できていないことが挙げられる。

エ 今後の取組の方向性

- ・ 利用者ニーズや社会環境などを踏まえた講座等のテーマや実施方法を工夫し、利用者の満足度を高めるとともに、市町と連携した効果的な情報発信を行い認知度の向上を図り、利用者数の増加につなげる
- ・ 特に、市町と連携した講座やweb配信を活用したセミナー等を実施し、利用者が受講しやすい機会の確保に取り組む
- ・ 複雑で深刻な相談にも対応できるよう、電話及び面接の相談員のスキルアップや支援者間でのネットワークづくりに取り組む

など、エソール広島の実施する事業の見直しや充実を図っていく。

なお、将来のエソール広島の担う役割や機能などについては、女性団体や有識者など幅広い方々の意見を聞きながら、今年度改定を予定している「わたらしい生き方応援プランひろしま」に反映していく。

(3) スケジュール（実施期間）

令和6年4月～令和7年3月

令和6年度のエソール広島の活動状況について

〔 令和7年6月27日
わたらしい生き方応援課 〕

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和6年度の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

第1 エソール広島の事業の実施状況について

「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めて行くため、次の3点を重点項目として事業を実施した。

＜重点項目＞

- 1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- 2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- 3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

(1) 事業内容

- ジェンダー平等の視点に立った意見の反映が進むよう、防災や世代間のジェンダー観の違い等をテーマとした男女共同参画公開講座を開催したほか、性別による固定観念の解消に向け、日頃抱いている性別役割に関する「もやもや」を川柳の形で募集・発信し、男女双方の意識改革を促すジェンダー川柳コンテストを実施した。

ア 男女共同参画公開講座

講座名	実施日	参加者	内容
「誰一人取り残さない」防災の学び～災害の経験から学び、受援力を高めるために～	6/29	140人	「ひろしま防災の日」にあわせて、ジェンダーの視点で防災を学ぶ講座。 満足度：95.1% 受講者の声：「被災地の事例を踏まえた具体的・実践的な対応法をお話いただいた。地域で活用していきたい。」など
地域防災リーダー育成講座（3回連続講座）	9/7 9/28 10/27	33人 (修了者 25人)	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策や避難所運営を学ぶ防災リーダー育成連続講座。 実践的な学びとするため集合型とし、避難所運営実地訓練も行った。 満足度：95.8% 受講者の声：「大変細かいところまで考えさせられる、他ではない防災講座だった。」など
エソール広島公開講座 「おふたりさま」は「おひとりさま」より大丈夫なのかー性別分業社会と長寿期リスクー	1/19	211人	長寿期在宅リスク等を知り、安心して暮らすために知識を身につけることを目的とした講座。 満足度：94.0% 受講者の声：「親と一緒に視聴した。それぞれの思いや考えが浮き彫りになり、大変勉強になった。」など

講座名	実施日	参加者	内容
エソール広島公開講座 「娘・息子世代と考える日本のジェンダー」	2/1	57人	親世代と20代の若者世代が感じるジェンダー観の違いをテーマにした講座。 満足度：85.7% 受講者の声：「自分の身内や関わりある人に男性社会の変革を小さなことから伝えていきたい。」など

イ ちいともやもや ジェンダー川柳コンテスト

講座名	内容
<p>○ちいともやもや ジェンダー川柳コンテスト</p> 	<p>令和5年度に引き続き実施した「男だから」「女だから」といった思い込みや決めつけで感じた「もやもや」や違和感を川柳の形で募集し、県民投票等により共感性の高い作品を表彰する県民参加型のコンテスト。</p> <p>県内企業11社の協賛のもと、企業賞の提供や広報協力を得て、職域や県民生活に近い場面での啓発を行った。</p> <p>また、前年度の受賞作品のパネルの貸出しやリーフレット配布を行ったほか、特設サイト「共育てひろしま研究所」へ川柳を掲載するなど、コンテストをきっかけとした啓発活動を行った。</p> <p>○応募総数 3,747 作品 ○前年度受賞作品を活用した啓発パネル貸出 11 件（公民館など） ○多く寄せられた作品の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「男/女らしさ」を規定する言葉や慣習に関するもやもや (41%) ・家事育児に関する性別による固定観念への違和感 (27%) ・職場での周囲の言動から感じた男女の固定観念への違和感 (11%) <p>(広報)</p> 

(2) 振り返り

- 男女共同参画公開講座では、参加者からの満足度は高く、「地域で活用したい」といった感想が寄せられており、ジェンダー格差等について考えてもらうきっかけを提供できた。
- ジェンダー川柳コンテストでは、SNS 広告や協賛企業による職域での参加呼びかけ等により、ターゲットとしている30代～40代女性を含む幅広い世代や男性等からの応募が増えたほか、学校等への働きかけにより組織単位で応募があるなどの広がりが見られ、応募数は前年度の2倍超となった。また、受賞作品が全国ニュースで取り上げられるなどの反響があった。【応募数：3,747 作品 (R5 年度：1,649 作品)】

川柳作品パネルの公民館等への貸し出しや子育てサイトへの掲載など、コンテスト終了後も継続的な啓発活動につなげることができた。

2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

(1) 事業内容

- 相談業務（一般相談）では、家族や職場の人間関係トラブルや将来への不安などに対し、電話相談や面接相談を行ったほか、こども家庭センターや医療機関等の専門機関へつなぐ対応を行った。令和6年度は前年度を上回る2,424件の相談が寄せられ、「家族（夫婦、子供、親等）に関すること」に関する相談が増加したほか、年代別では50代が増加し5割以上を占めた。
- このほか、複合的な悩みを抱える女性等に対し、専門家に相談できる無料相談会を実施した。
- 支援者には多岐にわたる相談対応のスキルが求められることから、困難を抱える方への支援の充実・強化を図るため、支援者養成に取り組んだ。
- デートDVや性暴力等をテーマとした公開講座を実施し、困難を抱える方への理解や支援の大切さなどの啓発を行った。

ア 相談業務（一般相談）※LGBT相談は、「3」の性の多様性についての項目で後述

(7) 相談件数

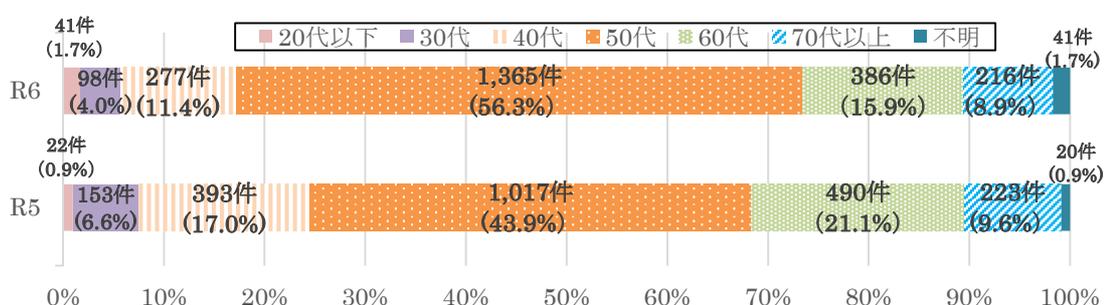
区分	電話相談※	面接相談※	計	対前年度比
令和6年度	2,302件	122件	2,424件	104.6%
令和5年度	2,218件	100件	2,318件	—

※電話相談は週5日（水曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く）、面接相談は原則、毎週金曜日

(イ) 相談内容

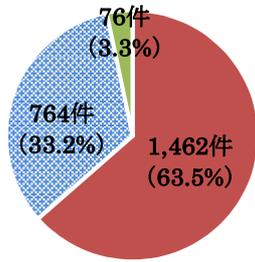
相談内容	令和6年度	令和5年度	対前年度比
家族（夫婦、子供、親等）に関すること （離婚、夫婦間のDV、子供の教育、親の世話など）	812件 (33.5%)	772件 (33.3%)	105.2%
男女間や職場の人間関係など対人に関すること （男女・隣人・友人・職場等対人関係におけるトラブルなど）	494件 (20.4%)	495件 (21.4%)	99.8%
健康、孤独などの人生における不安や悩みに関すること （病気を抱える辛さや不安、今後の生き方など）	988件 (40.8%)	944件 (40.7%)	104.7%
その他 （法律や福祉など様々な情報の収集など）	130件 (5.4%)	107件 (4.6%)	121.5%
計	2,424件 (100.0%)	2,318件 (100.0%)	104.6%

(ウ) 相談者の年代



(イ) 相談者の地域別件数

(電話)

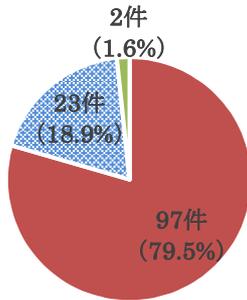


■ 広島市 ■ 広島市以外の県内 ■ 県外・不明

【広島市以外の県内の件数】

呉市	16	尾道市	4
三原市	3	府中市	1
福山市	83	庄原市	3
三次市	1	東広島市	51
大竹市	1	安芸高田市	2
廿日市市	47	海田町	14
府中町	18	北広島町	2
熊野町	4	不明	511
竹原市	3	計	764

(面接)



■ 広島市 ■ 広島市以外の県内 ■ 県外・不明

【広島市以外の県内の件数】

呉市	2	尾道市	1
三次市	1	東広島市	3
廿日市市	6	府中町	3
海田町	1	熊野町	3
坂町	2	不明	1
		計	23

(オ) 専門機関との連携

専門機関	令和6年度	令和5年度	主な事例
警察	2件	3件	金銭関係
医療機関等	3件	7件	家族との関係に関する悩み
行政機関 (こども家庭センター等)	28件	48件	DV、セクハラ
弁護士、家庭裁判所等	36件	40件	離婚、相続
民間施設	12件	11件	金銭問題、家族に関する悩み
計	81件	109件	

イ 専門家無料相談会

※LGBT相談は、「3」の性の多様性についての項目で後述

相談会	実施日	相談者	内容
	9/23	16人	弁護士、公認心理師等による無料相談会。 DV等の家族問題や心の健康に関する相談に対応した。 9月：弁護士1人、臨床心理士1人、公認心理師1人 2月：弁護士2人、臨床心理士1人 満足度：82.5% 参加者の声：「具体的にアドバイスをいただき、今後について明確になった。」「本人の気持ちを最大限に考え、相談に応じていただけました。」など
	2/23	16人	

ウ 支援者養成

講座名	実施日	参加者	内容
支援者養成講座	6/16 7/13 7/14	22人	「聴く技術」を体験的に学び、相談技術を身に付けた人材の育成を目的とした支援者養成講座。 対象：支援者を目指す人（未経験者を含む。） 満足度：100% 受講者の声：「スキルアップにとっても役立つ講座だった。」「目からウロコの知識をたくさん教えていただいた。参加者同士の交流もよかった。」など
支援者養成講座等修了生向けフォローアップ研修	11/17	24人	支援者養成講座等の修了生を対象に、「SNS カウンセリングの応答技法」をテーマとした研修。 受講生同士で対応を検討するなど交流を促進した。 満足度：100% 受講者の声：「今後も実施してほしい。」「この講師の継続した講座を組んでほしい。」など

エ 公開講座

講座名	実施日	参加者	内容
エソール広島公開講座 「今、若者たちに何が起きているのか～デートDVに気づき、助けてと言える環境を作るには～」	6/27	107人	若者が被害を受けることが多いデートDVについて、周囲の大人ができることを考えるとともに、ジェンダー問題について考える講座。 満足度：95.8% 受講者の声：「具体的な事例を基に望ましい対応を学ぶことができた。」「どんな声掛けが良いかのプチ・ロールプレイが具体的で良かった。」など
エソール広島公開講座 「今、若者たちに何が起きているのか～SNS利用による性暴力から子どもたちを守るために～」	9/26	138人	子供の性被害に、周囲の大人がどのようにSOSに気づき、防止するかを考える講座。 満足度：97.2% 受講者の声：「子供たちがNoと言えるように、何かあったら安心して相談できるように、教育と体制づくりの大切さを改めて感じた。」など
エソール広島公開講座 「どうして私だけが！介護家族に今、何が起きているのか」	12/7	49人	家族内の介護役割の偏りを考え、介護者を孤立させないための支援体制を学ぶ講座。 満足度：90.9% 受講者の声：「先々のために知っておくべきことが盛り込まれており参考になった。」など

(2) 振り返り

- 専門家無料相談会では、複数分野の専門相談を受けられるなどの工夫により、相談者の満足度は8割以上と高評価を得られた。
- 相談窓口には、様々な課題が絡み合った悩みが寄せられたり、問題が解決した後の精神的支援として専門機関からエソール広島を紹介されるケースもあるため、一人一人の状況に応じた支援者の対応力向上が必要である。
- 支援者養成の取組では、支援者のスキルアップとネットワークづくりを進め、参加者からの高い満足度を得られた。【公開講座参加者数：294人】

3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

(1) 事業内容

- 性の多様性の悩み等に対し、週1日の電話相談を開設し、「自分の性に違和感がある」などの相談への対応や、必要に応じて医療機関等の専門機関につなぐ対応を行った。相談件数は前年度と比べて減少し、年代別では50代からの相談が増え、3割を占めた。
- 専門家相談会では、支援者による面接相談及び専門家等を交えて相談者同士が交流できるグループ相談の場を設けた。
- 性の多様性等に関する理解促進について、県教育委員会等と連携し高等学校における出前授業を実施したほか、若者の身近にいる教職員を対象に、基本的な知識の理解や支援の方法などを学ぶ講座等を実施した。

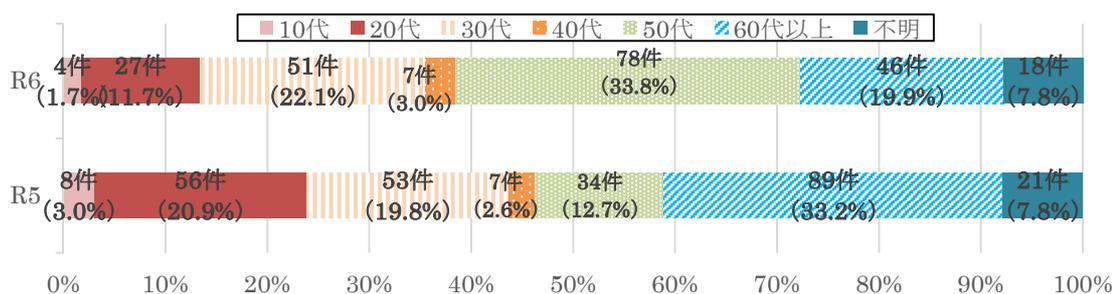
ア LGBT相談※

(7) 相談件数

区分	電話相談	面接相談	計	対前年度比
令和6年度	228件	3件	231件	86.2%
令和5年度	263件	5件	268件	—

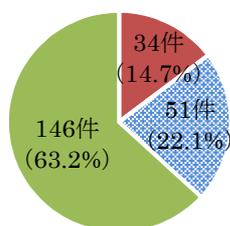
※LGBT電話相談は平成29年10月開設（開設当初は月1回）、平成30年6月からは毎週土曜日

(イ) 相談者の年代



(ウ) 相談者の地域別件数

(電話・面接)



■ 広島市 ■ 広島市以外の県内 ■ 県外・不明

【広島市以外の県内の件数】

呉市	1	尾道市	22
福山市	3	三次市	2
東広島市	8	廿日市市	5
府中町	2	不明	8
		計	51

(イ) 専門機関との連携

専門機関	令和6年度	令和5年度	主な事例
医療機関	4件	4件	性別違和による医療等
行政機関	3件	1件	心の悩み
民間支援団体	5件	22件	相談先の情報収集
計	12件	27件	

イ 専門家無料相談会

相談会	実施日	相談者	内容
専門家無料相談会 ※LGBT相談	9/23 2/23	8人 6人	支援者による面接相談と大学教授等を交えて相談者同士が交流できるグループ相談。 満足度：82.5% 参加者の声：「気楽に思っていることを話すことができ、安心できた。」「苦しみを分かってもらえる人と関わるととても良かった。」など

ウ LGBTの理解促進

講座名	実施日	参加者	内容
高校生向け性の多様性等に関する出前授業	5/8 ～ 2/5	3,618人	若い段階で性の多様性について正しく学ぶとともに、それぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送るためにお互いを尊重することの大切さを考える出前授業。(R5：23回、3,719人)
エソール広島公開講座 「知ってほしい性の多様性」	8/8	487人	子供達と多くの時間を共有する学校関係者等が、性的指向や性自認に関する正しい知識や理解を深め、支援の方法などを学べる公開講座及び動画配信。 満足度：92.9% 受講者の声：「自分の意識をまず変えていきたいと思った。」「身近にいる人を否定せず、その人自身を見ることが出来るように意識していく。」など

(2) 振り返り

- LGBT相談では、同じ悩みを抱える方同士でつながりたいという相談者のニーズを踏まえたグループ相談の場の提供などを行っており、引き続き、相談者のニーズに応じた取組が必要である。
- 性の多様性等の理解促進では、高等学校への出前授業において、LGBT等当事者でもある支援者が自らの体験を交えながら授業を行うことで、生徒からは「友人や信頼できる人に悩みを打ち明ける大切さをあらためて知ることができた。」といった声が寄せられるなど、より身近に考えることのできる機会を提供できた。

4 重点分野以外の取組等

(1) 事業内容

- ジェンダー平等や女性活躍などについて考えるきっかけとなるよう、関係団体等と連携した共催事業や企業等からの研修受託を行うとともに、図書等の配架・貸出やSNS等を利用した講座・研修の情報発信等を行った。
- このほか、地域の男女共同参画の現状や課題、エソール広島に対するニーズ等を把握するため、市町へのアンケート調査やヒアリングを実施した。

ア 共催事業

県や民間団体と連携し、ジェンダーに関する今日的なテーマを取り上げて、講座やイベント等を行った。

区分	回数 (団体数)	参加者	内容
令和6年度	44回(21団体)	2,003人	働き方講演会「未来を切り開く女性たちへ」 「わたしらしく夢を叶える起業応援セミナー」 など
令和5年度	28回(17団体)	1,517人	「FEMTECH FES (フェムテック フェス)」 「みんなのDX研修～女性×デジタル～」など

(主な共催事業)

テーマ	実施日	参加者	内容
「わたしらしく夢を叶える起業応援セミナー」 	8/5	71人	女性の働き方に焦点を当て、仕事と家庭を両立するためのヒントなどについての講演会。 満足度：100% 受講者の声：「起業とか経営者という自分とはまったく無縁な世界だと思っていたが、皆さんのキッカケを聞いてハードルは意外と低く感じられた。」「今は特にやりたい事は無いが、何かやりたい事が出来た時に起業という選択肢もあるのだなと思えた。」など

イ 研修受託

企業・民間団体・行政からの受託を受け、ジェンダー平等に関する講演・講座に講師を派遣し、意識啓発を行った。

区分	回数 (団体数)	参加者	内容
令和6年度	28回(16団体)	2,185人	ハラスメント研修、職場における性の多様性理解促進、ジェンダーギャップなど
令和5年度	25回(17団体)	1,692人	

ウ 出前授業

高校生がそれぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送り、お互いを理解し尊重することの大切さなどについて学んでもらうため、講師を学校へ派遣し出前授業を実施した。

区分	回数	参加者	内容
令和6年度	13回	3,618人	性の多様性等の理解促進 (13回) ※再掲
令和5年度	24回	3,911人	性の多様性等の理解促進 (23回) デートDV (1回)

エ 大学、高等学校等との連携・交流

これまで利用の少なかった若年層の自主的な活動の場づくりとして、大学・高等学校等との交流・連携を図った。

連携先	日時	概要
進徳女子高等学校	6/29	公開講座『『誰一人取り残さない』防災の学び』において、平和ゼミナール部の生徒による能登半島地震への支援活動を発表。 参加者数：6人
叡啓大学	7/25 8/24 9/24 10/19	25歳以下の学生等が自主的に企画・運営する性的マイノリティ当事者等の居場所づくりを目的とした活動を支援。 参加者数：47人 対象：LGBTQ+当事者、当事者かもしれない人、自分のセクシュアリティに迷っている人
	9/18～9/30 (10日間)	男女共同参画に関する理解を深めてもらうため、大学生をインターンシップとして受け入れ。イベントの企画、ホームページの改善及び図書スペースの利用活性化等について提案してもらった。
	3/8	女性の健康週間に合わせ、大学生の企画・運営により生理への理解を深めるイベント「広島わかもの保健室」を実施。パネル展示や最新の生理用品を紹介、看護師による相談コーナーを設けた。 参加者数：30人
叡啓大学 県立広島大学 広島修道大学	10/21	ちいともやもやジェンダー川柳コンテストにおいて、県内大学の学生に審査を依頼し実施。 参加者数：11人
安田女子大学	2/15	大学生の企画により、企業経営者や社員と学生が交流する「フライング交流会」。学生制作の企業PR動画の発表等を行った。 参加者数：60人
計	5校6件	(R5：5校5件)

オ エソールつながるトークリレー（YouTube 動画配信）

男女共同参画やジェンダーについて理解を深めるため、啓発動画を作成し、YouTubeを活用し配信することにより、広く県民への啓発を行った。

テーマ	公開期間	講師	視聴回数
困難女性支援法に期待するもの (#1～#3)	4/1～	寺本佳代さん（弁護士）	1,043回
デートDVとは何ですか？ (#1・#2)	4/1～	藤本圭子さん（弁護士）	457回
多様な性のあり方を前提とした 学校づくり	6/1～	河口和也さん（広島修道大学教授） 當山敦己さん（ここいろhiroshima）	976回
性の多様性と教育 (前編・後編)	6/1～	河口和也さん（広島修道大学教授）	720回
すてきな大人になるために (#1～#3)	11/11～	河野美代子さん（河野産婦人科クリニック院長）	219回
「男性が支配する性から自由になるために」	11/16～	上水流久彦さん（県立広島大学教授）、 松高由佳さん（県立広島大学准教授）	186回
D、E、Iとは (#1・#2)	12/4～	石田洋子さん（広島県男女共同参画財団理事長、広島大学副学長）	271回
計	7件	(R5：2件)	3,872回

カ 情報発信等の状況

ホームページの改修により見やすさを改善し、セミナーの案内や実施内容、施設利用について発信したほか、フェイスブックやインスタグラムなどの SNS を利用し、施設の利用案内や各種講座・研修の情報発信を強化した。

また、女性問題、DV、人権、LGBT など男女共同参画やダイバーシティ等に関する図書等を配架、貸出しを行った。※詳細は、[参考](#)情報発信・蔵書貸出状況のとおり（P16）

（2）振り返り

- 民間団体との共催事業の実施回数は前年度より増加し、連携が進んだほか、女性の働き方について考える「わたしらしく夢を叶える起業応援セミナー」では、アンケートの満足度が 100% と高く、起業や経営を身近に感じてもらうことができた。
- YouTube 動画配信は前年度より内容を拡充し、7 つのテーマについて動画を公開した。人権週間等に合わせた動画公開や、講座の事前学習に活用するなどにより視聴回数増加につなげ、啓発効果を高めた。
- ホームページの改修を行ったほか、ジェンダー川柳を紹介するなどコンテンツを充実したため、アクセス数は前年度と比べて増加した。引き続き、動画配信や市町の講座イベントの発信等、コンテンツ充実により情報発信力を強化し、認知度向上と活動の活性化を図っていく。
- 市町へのヒアリング等結果では、市町が実施する講座への講師紹介や業務委託、地域の女性人材の支援へのニーズがあったことから、広報連携や研修受託などにより市町との連携を強化する。

第2 エソール広島の利用状況について

1 エソール広島の利用状況

(1) 利用状況

ア 利用者数

- 意識改革につながる講座や起業応援セミナー、女性特有の健康課題に関するイベントなど、幅広いテーマを取り上げるなど工夫し、対面と遠方からも参加しやすいようオンラインを併用したハイブリッド開催を充実させたほか、企業・団体等からの研修受託が増えたことなどにより、施設利用者数と出前授業等の参加者数のいずれも増加し、前年度に比べ利用者数は約1割増加したものの、利用者目標の3万人には達していない。

区分		令和6年度A (割合)	令和5年度B (割合)	対前年度比 A/B
利用者数		28,058人 (100.0%)	25,566人 (100.0%)	109.7%
うちオンライン参加		3,661人	1,802人	203.2%
内 訳	施設利用者数	21,707人 (77.4%)	19,611人 (76.7%)	110.7%
	うちオンライン参加	2,887人	1,802人	160.2%
	研修室・交流スペース利用	18,697人	17,136人	109.1%
	うちオンライン参加	2,887人	1,802人	160.2%
	フリースペース利用	3,010人	2,475人	121.6%
	外部施設で開催した出前授業等の参加	6,351人 (22.6%)	5,955人 (23.3%)	106.6%
うちオンライン参加	774人	0人	—	

イ 研修室及び交流スペースの稼働率

研修目的等での稼働率は86.1%と、前年度に比べて4.4ポイント上昇している。

区分	開館日数 A	研修目的等での利用日数 B	稼働率 B/A
令和6年度	353日*	304日	86.1%
令和5年度	360日*	294日	81.7%

*令和6年度休館日：お盆（8/12～14）、年末年始（12/29～1/5）、館内清掃（3/13）

*令和5年度休館日：年末年始（12/29～1/3）

ウ 施設利用者の団体区分別の利用状況

団体区分別でみると、企業・NPO等が12,078人（55.6%）で最も多く、そのうち利用形態別では、講座・研修での利用が7,678人（63.6%）と多い。共催・連携団体は2,576人で、前年度より増加した。

区分	令和6年度 〔団体別割合〕 (利用形態割合)	(利用形態)				令和5年度	対前年度比
		講座・研修	交流会	会議・打合せ	その他		
共催連携 団体	2,576人 〔11.9%〕 (100.0%)	1,693人 (65.7%)	411人 (16.0%)	0人 (0.0%)	472人 (18.3%)	1,635人	157.6%
企業・NPO等	12,078人 〔55.6%〕 (100.0%)	7,678人 (63.6%)	975人 (8.1%)	2,631人 (21.8%)	794人 (6.6%)	9,885人	122.2%
行政	1,874人 〔8.6%〕 (100.0%)	1,151人 (61.4%)	0人 (0.0%)	693人 (37.0%)	30人 (1.6%)	3,980人	47.1%
男女共同参画 財団(主催事業)	2,169人 〔10.0%〕 (100.0%)	1,512人 (69.7%)	11人 (0.5%)	197人 (9.1%)	449人 (20.7%)	1,636人	132.6%
フリースペ ース利用者	3,010人 〔13.9%〕 (100.0%)	—	—	—	3,010人 (100.0%)	2,475人	121.6%
合計	21,707人 〔100.0%〕 (100.0%)	12,034人 (55.4%)	1,397人 (6.4%)	3,521人 (16.2%)	4,755人 (21.9%)	19,611人	110.7%

※割合は端数調整の関係で合計が一致しない場合がある。

(2) 振り返り

- 目標としている利用者数（3万人）に届いておらず、その要因として、エソール広島の活動の周知や認知が広がっていないことや、遠方からの利用者数が伸びていないこと、市町や関係団体と広報啓発や活動の連携が十分できていないことなどが挙げられる。

第3 今後の取組の方向性

- ・ 利用者ニーズや社会環境などを踏まえた講座等のテーマや実施方法を工夫し、利用者の満足度を高めるとともに、市町と連携した効果的な情報発信を行い認知度の向上を図り、利用者数の増加につなげる
 - ・ 特に、市町と連携した講座やweb配信を活用したセミナー等の実施し、利用者が受講しやすい機会の確保に取り組む
 - ・ 複雑で深刻な相談にも対応できるよう、電話及び面接の相談員のスキルアップや支援者間でのネットワークづくりに取り組む
- など、エソール広島の実施する事業の見直しや充実を図っていく。

なお、将来のエソール広島の担う役割や機能などについては、女性団体や有識者など幅広い方々の意見を聞きながら、今年度改定を予定している「わたらしい生き方応援プランひろしま」に反映していく。

参考 情報発信・蔵書貸出状況

1 ホームページ等

ホームページ	<p>アクセス件数：114,547件（前年度：107,257件） ※旧サイト（令和6年4月～令和7年1月6日）96,035件 ※新サイト（令和7年1月7日～令和7年3月）18,512件 アクセスの多いページ（HOMEを除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧サイト 令和6年4月～令和7年1月6日 <ul style="list-style-type: none"> ①ジェンダー川柳コンテスト(7,860件) ②施設案内(4,868件) ③施設利用(4,803件)④相談したい方(4,692件)⑤エソール広島の概要(3,224件) ⑥ジェンダー川柳コンテスト2024(2,391件)⑦施設予約状況(2,317件) ⑧講座情報(2,073件)⑨講座イベント情報(1,714件)⑩LGBT公開講座(1,125件) 新サイト 令和7年1月7日～令和7年3月 <ul style="list-style-type: none"> ①施設利用(1,308件) ②相談したい方(1,285件)③施設案内(1,207件) ④県内市町等の講座・イベント(991件) ⑤施設予約状況(723件) ⑥エソール広島の概要(701件)⑦財団事業の実施報告(483件) ⑧ジェンダー川柳コンテスト2024(342件) ⑨広島県 相談機関・支援団体一覧(334件) ⑩講座情報(280件)
フェイスブック	<p>投稿回数：73回(前年度：101回) フォロワー数：774人(前年度：744人) 主な配信内容：①研修・イベント情報(43件)②国・県情報、施設情報(各12件) ③図書の紹介(6件)</p>
Instagram	<p>投稿回数：63回(前年度：70回) フォロワー数：271人(前年度：186人) 主な配信内容：①研修・イベント情報(35件)②国・県情報(12件) ③施設情報(10件)④図書の紹介(6件)</p>
ライン	<p>投稿回数：14回(前年度：20回) 登録者数：76人(前年度：71人) 主な配信内容：①研修・イベント情報(9件) ②国・県情報(3件)③施設情報(2件)</p>
メールマガジン	<p>配信回数：37回(情報数133件) (前年度：33回(情報数122件)) 登録者数：1,542人(前年度：1,369人) 主な配信内容：①研修・イベント情報(83件) ②県内市町からの情報(21件)③国・県情報(19件) ④施設情報(9件)</p>
ユーチューブ	<p>公開本数：14本(総登録数41本)(前年度：7本) 登録者数：173人(前年度：142人) 視聴回数：6,632回 総再生時間：662.4時間</p>

ESSOR
最新の情報、載ってます！
Follow us!!




Instagram facebook




他にもいろいろ、やっています！





2 文献情報等

区分	保有数	貸出数		
		令和6年度	令和5年度	
一般図書	男女共同参画に関する内容	3,308冊	300冊	278冊
行政資料	国・都道府県作成の男女共同参画に関する調査・統計・報告書等	89冊	(館内閲覧)	(館内閲覧)
DVD	女性の生き方を考える国内外の映画・ドキュメンタリー等	48本	2本	2本